



チカラ

輝く女性の力

新 年号のほっとタイムは、さまざまに夢や目標に向かつて輝く女性たちをお迎えしました。果樹栽培に取り組みその魅力を発信する生産者、育児と仕事を両立し頑張る女性、榛名湖畔で創作活動に励む画家の卵の3人の皆さんと、自身の夢や目標、高崎市のこれからについて語ります。



高崎から発信、高崎で夢を叶える

女性たちの活躍が輝くまちの原動力に

市長 市長に就任して10年、高崎を「北関東の中で光るまち」と、さまざまな課題に取り組んできました。今はさらに上を目指し「日本全国の中で輝くまち」にしたいと考えています。そのためには、女性が生き生きと活躍できるまちでなければいけません。女性が能力を生かしてチャレンジできるための条件、安心して子育てできることもその一つですが、そういった環境を整えることが都市の総合力アップにつながると考えています。今日は夢をもって頑張る女性の皆さんにお集まりいただきました。まずは榛名で果樹栽培をなさっている中里見さん、もともと農家だったんですか。

中里見 いえ、夫の実家が果樹農家で結婚を期に私も手伝うようになりました。今は梨や梅、プラム、ブルーベリーなど果樹全般を作っています。

市長 写真の技術を勉強されて、SNSで発信されているそうですね。

中里見 梨やプラムのジュースなどの加工品をスマートフォンで撮って、インスタグラムで紹介しています。市のブランド商品開発事業の補助金を使わせて



かわいいデザインのジュースが評判に

いただいたパッケージを一新し、けっこう人気なんです。やはり販路を広げるためには、発信方法やデザインも工夫しないと。

市長 おっしゃるとおりです。私は高崎の農産物のブランド力をもっと高めたいんですよ。高崎産の農産物は東南アジアで大人気。シンガポールの百貨店やイベントでは飛ぶように売れるほどです。最終的には都内の有名百貨店に並べるのが夢なんです。中里見さんのように、ご自身で道を切り開いて、本市の農産物の魅力発信に取り組んでくださるのは頼もしいですよ。

託児も就労も 子育て世代を全面支援

市長 お子さんが4人いらっしゃるようですが、農業との両立は苦労されたでしょうね。

中里見 保育園に預けていたが、休日は作業場に連れていくこともありました。いつも親を頼るわけにはいかなかったので。

市長 農業は休みなしですからね。4年前に開設した子育てなんでもセンターの託児施設は誰



本市の子育て支援の拠点 子育てなんでもセンター

でも利用できるんですよ。土日もやっていますし、理由も一切問いません。

中里見 すごくいいなと思っていました。若い頃にあればぜひ使いたかったですね。

市長 この託児はとても人気で需要が多いので、来年度はもう一か所整備する予定なんです。なんでもセンターには、ハローワークと連携して就労支援窓口も設けています。子連れのお母さんたちに安心して再就職の相談をしてもらえます。この就労相談を利用してくださったのが高山さんですね。

高山 おかげさまで日本製品の輸出をサポートする会社に勤めることができました。英語で海外の顧客とメールのやりとりをするんですが、在宅で完全リモートワークなんです。

市長 それは新しいスタイルですね。車いすはご病気ですか？

高山 はい、筋力が弱くなる病気で電動の車いすを使っています。どうしても働き方が限られてしまうのですが、就労相談で



結 婚を機に就農。榛名地域で果樹栽培に取り組む。市のブランド商品開発事業補助金で加工品のパッケージデザインを刷新。フォトスタイリングを学び、積極的にSNSで情報発信している

中里見 若葉さん WAKABA NAKASATOMI



子 どもの頃から絵が好きで画家を目指す。2017年、アクリル画で群馬県展の知事賞を受賞。芸術系の大学を昨年卒業し、榛名湖アーティストレジデンスで創作活動を行っている

竹内 美絵さん MIE TAKEUCHI



ア メリカの大学を卒業し、夫の仕事の関係で本市に転入。子育てなんでもセンターの就労支援を利用して就職。語学を生かし、市国際交流協会のボランティアにも携わる。小学生と保育園児の2児の母

高山 わか子さん WAKAKO TAKAYAMA



高 崎をエキサイティングで魅力的なまちにするために奮闘。女性たちの活躍を応援するため、子育てSOSサービスや保育制度、就労などの子育て支援をさらに充実させたいと考えている

富岡 賢治市長 KENJI TOMIOKA

自分に合った仕事が見つかるまで何度も相談に乗ってもらい、今の仕事に巡り合えました。

市長 それは良かった。なんでもセンターは子育て世代の方のリフレッシュや入園相談などに、広く利用してほしいですね。

アーティストをまねたい!

市長 私は高崎を音楽やアートのあるまちにしたいという夢があります。芸術で高崎から世界を目指す若者に、チャレンジできる機会をあげたいんですよ。昨年オープンした榛名湖アーティストレジデンスもその一つです。高峰三枝子のヒット曲「湖畔の宿」のモデルとなった老舗旅館を寄贈していただいて、若い芸術家たちの創作活動の場として整備したんです。芸術家の卵の竹内さんは、ここに長期滞在して創作活動がされているんですね。

竹内 起きると目の前が湖という環境が、もう素晴らしいです。

市長 何もないけれど、それが魅力なのかもしれませんね。

竹内 自然の中だと創作に集中できます。いろいろな分野の人が滞在して創作しているのもすごく刺激になりますね。

市長 まちなかをアート作品で飾るイベントを毎年開催していますが、今年はレジデンスに滞



商店街とのコラボでベンチアートを制作

在するアーティストが何人も参加してくれました。ニューヨークはマリリン・モンローの巨大な写真でいっぺんに有名になったでしょう。高崎にもそんな作品が生まれるといいですね。

竹内 先日、まちなかの商店街主催のベンチアートの制作イベントに参加させていただきました。通りにアーティストが描いたベンチが並ぶんですよ。

市長 そういふ動きが始まったのはうれしいですね。

それぞれの夢に向かおう

市長 高山さんは県外のご出身ですが、高崎の住み心地はいかがですか？

高山 とても快適ですね。転入してすぐ保育園が決まったのもありがたかったです。県外の友達には穴場だよって勧められているんですよ。

市長 なるほど、穴場ですか。大手転職情報サイトの「働きたい街ランキング」では、首都圏の繁華街や副都心などの主要な都市が並ぶ中、高崎がランクインしました。北関東で選ばれた

のは高崎だけです。今後は「住みたいまち」として積極的に選ばれるようにしていきたい。ぜひ高崎の魅力の宣伝にお力添え願います。最後に皆さんの今後の目標を教えてください。

高山 生活がすごく充実しています。子育てと仕事をうまく続けていければと思っています。

竹内 高崎から世界にはばたけようかな家になりたい。子どもたちにアートの楽しさを教える活動もできたら良いですね。

中里見 県内の農業女子の集まりがあるのですが、高崎は農業への支援が手厚いというやましがられるんですよ。フォトスタイリングの勉強を続けて、もっと発信していきたいです。

市長 皆さんのような前向きでガッツのある女性たちがいるのは心強いですね。ぜひ高崎をリードして行ってください。私も高崎の総合力を高め、さらに住みよいまちにするためにチャレンジしていきますよ。頑張りますよ。

一同 ありがとうございます。

対談の様子を動画でご覧いただけます



新型コロナウイルスに注意しながら、参加者の皆さんの理解を得た上でマスクを外して撮影しています